

瀬田キャンパスの 3Dモデル化

プロジェクトリサーチ2022⑤

宋文澤 (ソウ ブンタク)

瀬田校舎のモデルでどんなことができる？

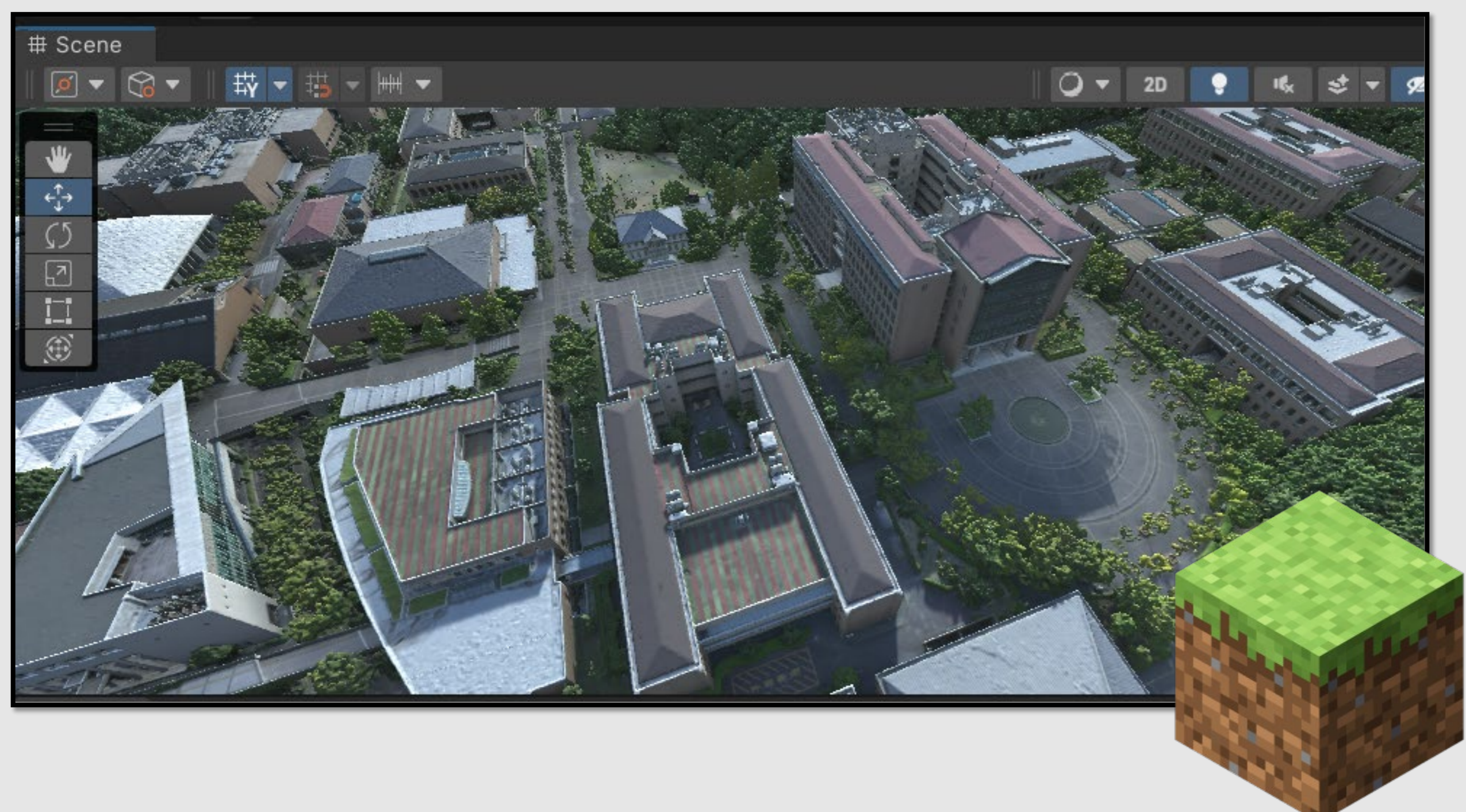
瀬田キャンパスの3Dモデルを活用してできることが以下の3つの具体例を挙げる。

- ① 学内にいなくても大学で歩き回れる。新生の案内やOCであわせて使うとリアリティが向上
- ② キャンパスをサイバーパンクや中世などのスタイルで自由に改装



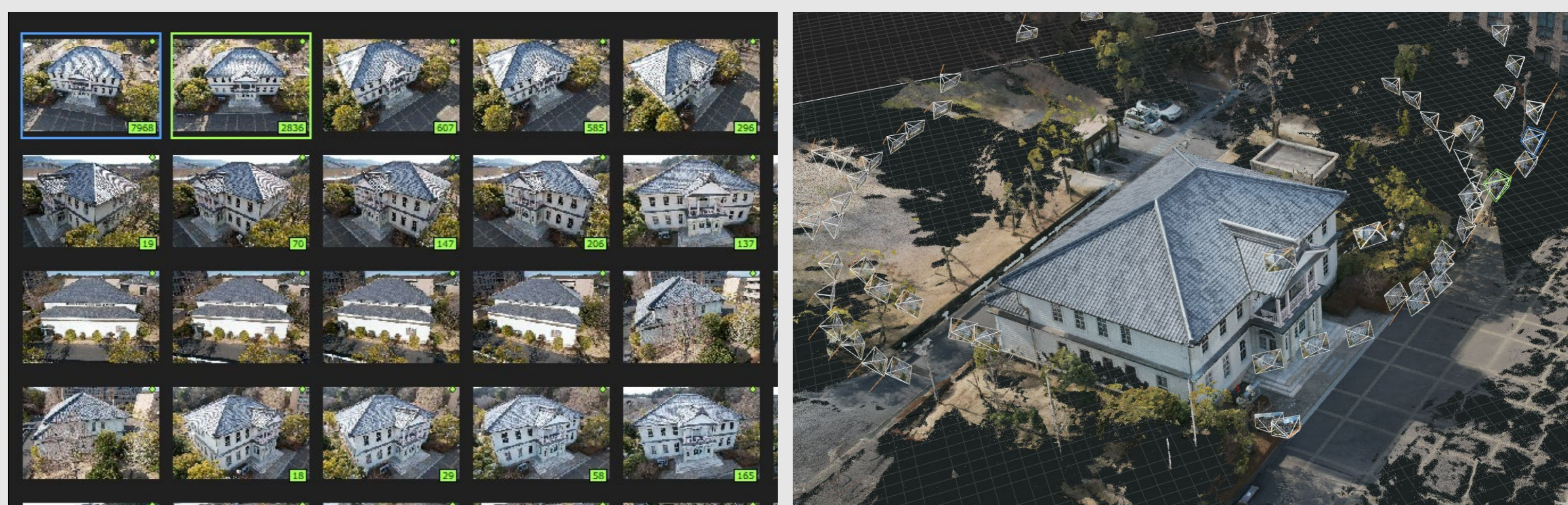
※この2枚の写真は「Midjourney」というAIに描かれた

- ③ fpsゲームやMinecraftのマップとしてゲームで楽しむ。



どのように3Dモデルを作った？

モデルは3Dスキャンで生成された。3Dスキャンは、物体の多くの角度を撮ると自動的にモデルが生成できる技術である。



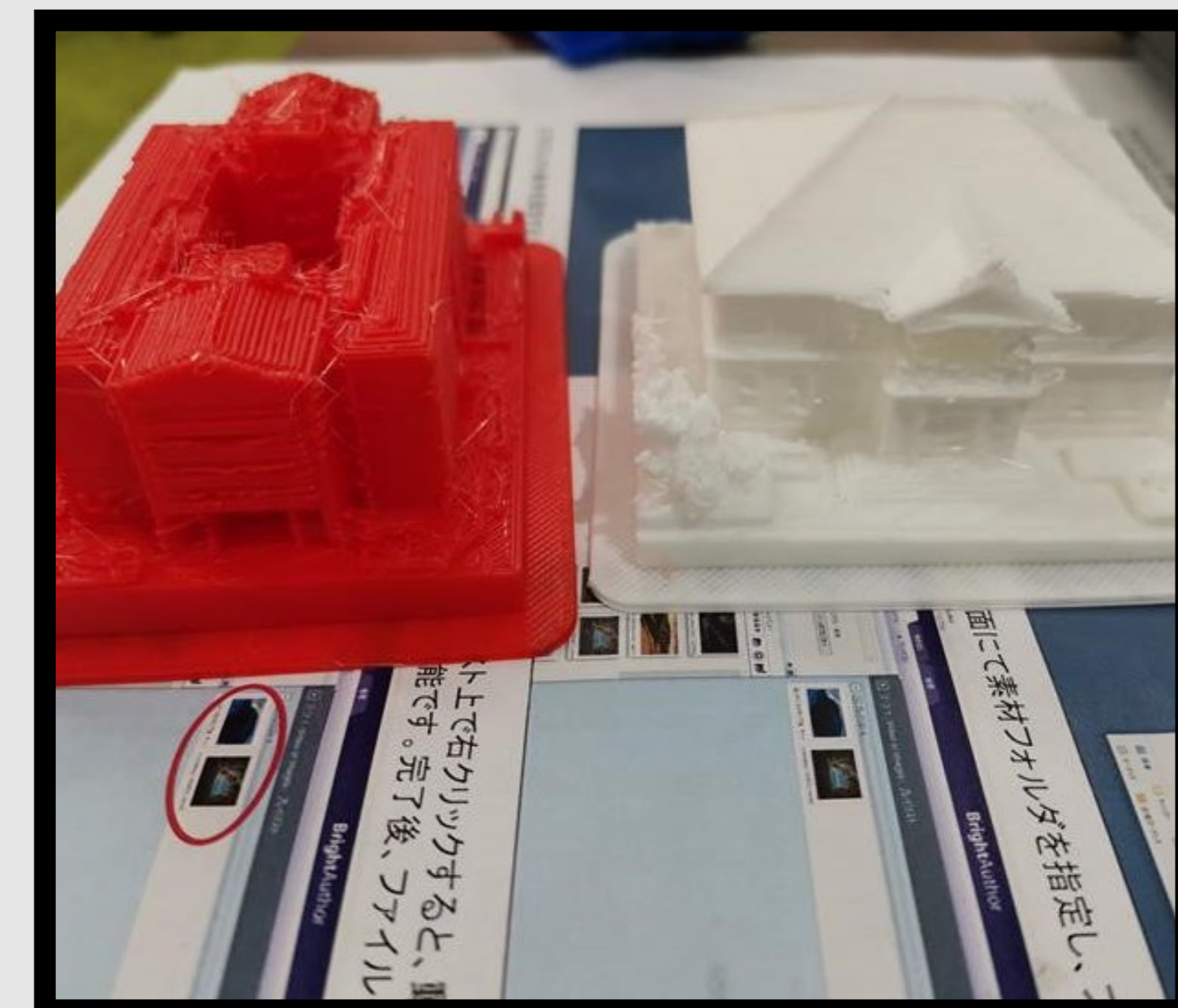
この理論を用いて、ドローンを使って瀬田キャンパスの各角度（計約7000枚）の写真を撮影し、ソフトでモデルを計算された。

今度用いた撮影の設備は
「DJI Air 2s」と「DJI Pocket 2」



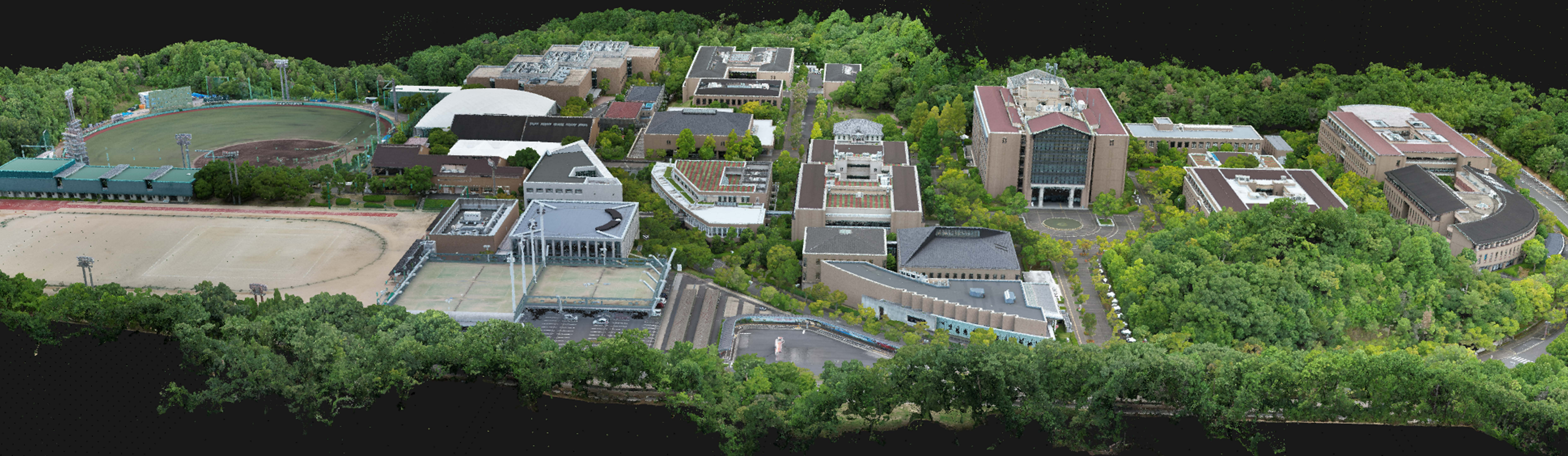
興味のある方へ

本プロジェクトが様々な発展の「種」になればとっていて、ここでの成果は学内の範囲で公開する予定で、非営利目的での利用には活用してもらってよいと考えている。次年度以降のプロジェクトリサーチの基盤となったり、瀬田キャンパスの活用等に資する基盤となることにも期待している。



瀬田キャンパスの 3Dモデル化

スマホを下の画像にタッチして
Demoを見る (※NFCが必要です)



2022年度プロジェクトリサーチ⑤

※以上の画像はRealityCaptureで生成された3Dモデルです